



日本薬剤疫学会を通じた ISPE 会員登録のご案内



2019.09 日本薬剤疫学会

毎年9月頃から年末にかけて日本薬剤疫学会（JSPE）の年会費の納入を会員にお願いしていますが、これにあわせて2010年から「日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録」についてもご案内させていただいています。

A. 日本薬剤疫学会（JSPE）を通じた国際薬剤疫学会（ISPE）会員登録のメリット

A1. 年会費の減額：ISPE 年会費 \$275→\$225 に減額

A2. 国際薬剤疫学会学術集会（ICPE）などの登録料の減額の可能性：

ICPE など ISPE が主催する学術集会の登録料の減額はそれぞれの運営委員会に委ねられており不確定ですが、2019年の第35回 ICPE（フィラデルフィア、USA）の登録料については以下のような減額措置がとられました。

(A) CONFERENCE REGISTRATION* (Please check one)			
REGISTRATION TYPE	EARLY BIRD Deadline Rate (by July 15, 2019)	ADVANCED Deadline Rate (by August 2, 2019)	ONSITE RATE (After August 2, 2019)
ISPE MEMBER			
Industry/Service Provider	<input type="checkbox"/> \$1,225.00	<input type="checkbox"/> \$1,325.00	<input type="checkbox"/> \$1,525.00
Academic	<input type="checkbox"/> \$1,090.00	<input type="checkbox"/> \$1,290.00	<input type="checkbox"/> \$1,490.00
Government	<input type="checkbox"/> \$1,090.00	<input type="checkbox"/> \$1,290.00	<input type="checkbox"/> \$1,490.00
JSPE	<input type="checkbox"/> \$750.00	<input type="checkbox"/> \$800.00	<input type="checkbox"/> \$850.00

JSPE 以外は学術総会参加費には年会費が含まれており、たとえば7/15までの Academic/Government の1090ドルに対し、JSPE 会員は Industry か Academic かを問わず 750+225=975ドル(プラス10-20ドルの手数料)で済むことになります。7/15 以後についてはさらに格安。

ICPE の登録料には年会費が含まれますが、この分を差し引いても、JSPE 会員（年会費は別途支払い）に対しては登録料が相当程度減額されました。

B. 国際薬剤疫学会（ISPE）会員のメリット

B1. Web を介した各種教育的資料の利用：(ISPE の HP の"Resources"の Education Center → ページ下の "Yes, I accept these terms" にチェックをいれて "submit")

① ICPE の前日に行われる preconference courses、ICPE の全体セッション、シンポジウムなどを記録した資料（ビデオ）が Web で利用可能となり、② mid-year meeting（例：2019年4月ローマ）の重要なセッションの記録も追加されました。③ ISPE 主催の Webinar（1~2カ月に1回程度実施される Web を介した1時間程度のセミナー、通常日本の深夜に開催）の記録（ビデオ）もご利用になれます。

B2. 上記「B1」資料の教育活動への活用：

ISPE では上記「B1」の一部を発展途上国における薬剤疫学教育などのために2017年末に一般公開しました (<https://webed.pharmacoepi.org/> の "NON-MEMBERS")。ISPE のもつ教育的資料のより広い活用を促進するためにも日本の ISPE 会員による積極的な利用が期待されます。

B3. その他： ISPE の会誌 Pharmacoepidemiology and Drug Safety (PDS) に掲載された論文のほか、ISPE 会員の連絡先を知るための "Member Directory" をご利用になれます。